

おかしり。

2022.10.1 SAT
JR只見線全線運転再開



1

只見町に列車が走る只見線の風景が戻ってくる！

福島県とJR東日本は、5月18日に共同記者会見を行い、JR只見線全線運転再開日が10月1日となることを発表しました。2011年の新潟・福島豪雨災害以降、不通区間となっている只見駅から会津川口駅間に、11年ぶりに列車が走る只見線の風景が戻ってきます。

JR只見線全線運転再開は「地域の将来像を描き、地方創生を成し遂げる起爆剤として必要不可欠な存在」として福島県や沿線市町村、只見線復興復旧に関わる皆さんが一丸となり活動してきた結果です。

復旧後の運行については、JR東日本と福島県による上下分離方式^(※)となります。

※上下分離方式…上部（運行や運営）の管理と下部（土地や資産）の管理を別の者（組織）が行う方式のこと。メリットとして下部の管理を行う県や沿線自治体が鉄道を軸としたまちづくりを行いやすくなることなどが挙げられる。

2

JR只見線を起爆剤とした地域づくり

JR只見線全線運転再開は沿線自治体にとって、ゴールではなく、スタートです。全線運転再開をきっかけに、JR只見線が日本一の「地方創生路線」として生活路線、観光路線、教育路線、産業路線で利活用され、地域振興につなげていくことが重要です。

全線運転再開後、只見町は只見線を利用して福島県を訪れる方々の「西の玄関口」となります。利用者がただ通過していただくだけではなく、只見駅で降車し只見町を楽しんでもらい「只見線にまた乗ってみたい」「只見町をまた訪れてみたい」となるような、玄関口を飾るおもてなしをしていく必要があります。

そのために町では、全線運転再開後を見据えて、各種事業に取り組んでいます。次ページでは、今年度取組む（取組んでいる）事業の一部を紹介いたします。



再運転開始に向けてこんな事業に取り組んでいきます！



只見駅周辺魅力化プロジェクト

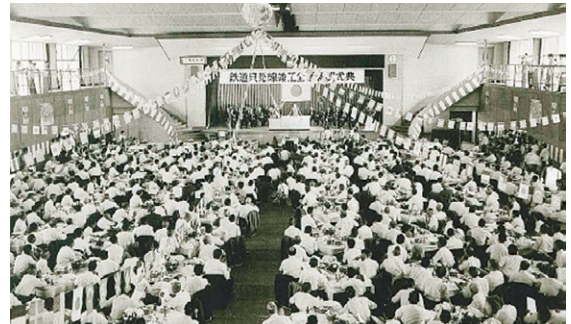
- ・只見駅前賑わい創出事業
只見駅周辺に賑わいを創出するために総合案内機能や飲食物販体制を整えます。
- ・三石神社遊歩道整備事業



▲駅至近にあり地域の宝でもある縁結び三石神社の遊歩道整備を、只見区と共同で実施しています。

全線再開通プロジェクト

只見線全線運転再開式典をJR只見駅前・只見小体育館で開催します。



▲昭和46年全線開通式典は750名の来賓を迎え、只見小学校で行いました。

利活用推進プロジェクト

- ・レンタルE-バイク活用事業
最新式E-バイク「ISSIMO(イッシモ)」をJR只見駅・奥会津ただみの森キャンプ場・湯ら里・森林の分校ふざわに配置しました。



- ・つなぐれつなぐれ只見線事業
只見線を利用した旅行や商品開発などの事業に対し支援をしています。



▲只見線を利用する子供会のイベントにも活用いただけます。

機運醸成プロジェクト

- ・横断幕・懸垂幕・デイカウンター等設置事業
- ・「霧幻鉄道」上映事業



▲「只見線」に触れる機会を増やしていくことで、全線運転再開の機運醸成を図ります。

JR只見線全線運転再開にむけて 様々な取り組みを行いますので、ご協力をお願いいたします。